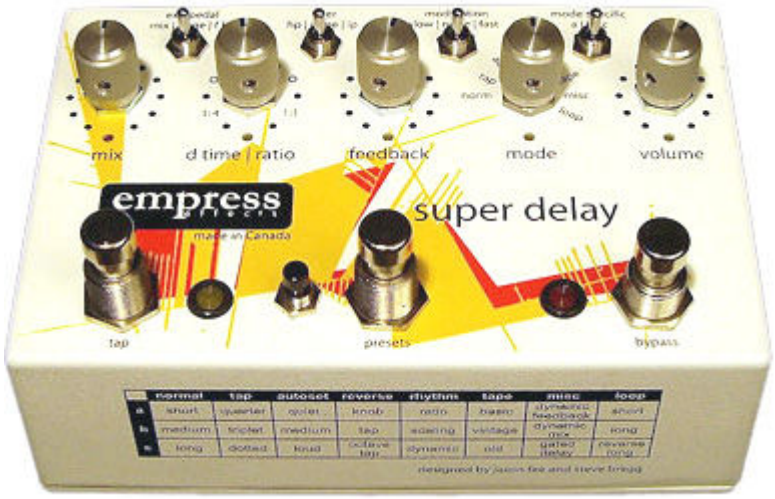

Superdelay

取り扱い説明書

（株）アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

＊ この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。

無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

Superdelayは全く普通のディレイペダルではありません。特徴は2つ。サウンド品質が並外れて高い(S/N比105dB以上!)、そして音楽家をインスパイアし続ける脅威の機能性です。

＜主な特徴＞

■ 並外れた高音質 – S/N 比 105dB 以上、24bit AD/DA（32bit 内部プロセッシング）
■ ギタリストに多大なリアルタイムコントロール性を与えるデザイン
■ 最大ロングディレイタイム 2.8 秒
■ 8 モード×3 サブモード
■ タップ/オート/リズムディレイタイム入力
■ 逆回転ディレイ（リバースディレイ）、変態オクターブアップリバースモード有
■ テープエコーモード。ワウ＆フラッターやヘッドの汚れ状態までもシミュレート
■ ダイナミック＆ゲートモード
■ 最大 13 秒 Looper(オバーダブ、逆回転モード可能）
■ エクスプレッションペダル入力（mix または feedback コントロール）
■ ハイパス/ローパスフィルター
■ Fast/Slow モジュレーション
■ 8 プリセット保存
■ 3 フットスイッチ
■ タップテンポ入力時には d Time ノブが Ratio に
■ トゥルーバイパス
■スモールザイズ（約 14.4×9.5×5cm）
■ AC アダプター駆動のみ（DC12V 500mA センタープラス、付属します）

＜機能詳細＞

mix

ドライ/ウェット信号を調整

d time | ratio

タップモードでない時にディレイタイムを調整します。タップモード時にはratioコントロールになります（ratio 2:1 の場合はディレイタイムは半分の長さとなります）

feedback

ディレイのフィードバックを調整

mode

後記する各モード切替です

exp pedal(スイッチ)

別売のエクスプレッションペダルを接続した場合にどのコントロールを行うか決定

filter(スイッチ)

ディレイ音に対しての hp(ハイパスフィルター)または lp(ローパスフィルター)を選択、hp はエレクトロミュージックに、lp はアナログディレイタイプのサウンドに最適です

modulation(スイッチ)

ディレイ音にモジュレーションをかけます。slow または fast が選べます

mode specific(スイッチ)

モードに対するサブモード（a,b,c)を選択

bypass(フットスイッチ)

トゥルーバイパス

presets(フットスイッチ)

保存されたプリセットをサイクル切替します、他機能あり

save(黒いスイッチ)

プリセット保存に使います

tap (フットスイッチ)

ディレイテンポの設定、他機能あり

＜各モード説明＞

各 8 モードにはそれぞれスイッチ切替の sub-mode があり、3 種の異なる機能を持ちます

1、Normal Mode

スタンダードなデジタルディレイ。Normal モードでは tap スイッチをプレスすると 1 ディレイタイムだけミュートします。これはフィードバック設定が高いときに便利です。コードチェンジ時などに利用すると前に弾いたコードと今弾いたコードの干渉をなくす事ができます。

sub-mode-a

ショートディレイモード（5.5ms～95ms）

sub-mode-b

ミディアムディレイ（45ms～800ms）

sub-mode-c

ロングディレイ（700ms～2.8seconds）

2、Tap Mode

ディレイタイムを tap フットスイッチでコントロール。リピートでタップされたテンポの平均でディレイタイムを決定します。Tap Mode 時は dtime|Ratio ノブは全ての sub-mode で Ratio コントローラーとなります

・ノブが 7-10 時では 1:1ratio、ディレイタイムはリズムタップされたテンポと同じ
・ノブが 7-2 時では 2:1ratio、ディレイタイムはリズムタップされた 1/2 倍
・ノブが 2-5 時では 4:1ratio、ディレイタイムはリズムタップされた 1/4 倍

sub-mode-a

ノーマルタップ、ディレイタイムはタップされて決まります

sub-mode-b

トリプレットタップ、ディレイタイムはタップされた 1/3 になります

sub-mode-c

ドッテッドタップ、ディレイタイムはタップされた 1.5 倍になります

3、Auto-Set Mode

オートモードではプレイのダイナミクスから自動にディレイタイムを決定します。プレイのボリュームピークを検知します。黄色の LED が点滅します（上手く点滅しない場合は sub-mode で調整もできます）。ここで tap スイッチを押すとディレイタイムが変化します。

sub-mode-a

ロースレッショルド、ディレイタイムが常に短すぎてしまう場合にはこのポジション

sub-mode-b

ミディアムスレッショルド

sub-mode-c

ハイスレッショルド、大きな音の楽器に有効な場合が多い

4、Reverse Mode

ディレイサンプルを逆回転させる特殊効果です。

sub-mode-a

リバースノブ、ディレイタイムは dtime|ratio でセットします。最大のリバースディレイタイムは 1.4 秒です。黄色の LED がこのモード時には点灯します。tap スイッチを押すと入力信号がディレイプロセッサーに送られなくなります。すると LED は暗くなります。

sub-mode-b

タップリバース、ディレイタイムは tap スイッチを繰り返し踏むことで決まります。

dtime|ratio はレシオコントロールに変わり 1:1、2:1、4:1 で変化します。最大のディレイタイムは 1.4 秒です

sub-mode-c

ディレイされたオーディオはリバースでプレイバックされ、サウンドはオクターブ上になります。最大ディレイタイムは 933msec になります。Feedback を上げ気味にしていくと凄い事になります。

5、Rythm(multi-Tap) Mode

4 つまでのタップでリズムディレイを作ります。

sub-mode-a

レシオ、dtime|ratio をレシオコントロールとして使用できます。1、2、4 倍の速さになります

sub-mode-b

スケーリング、d time | Ratio ノブが入力されたリズムのスケールを変化させます。時計回りで記憶させたリズムをより長くストレッチします。反時計回りでは反対に短くします。

sub-mode-c

ダイナミックボリューム、a に似ていますが音量も変化します。最初のリピートから段々大きくなります。

5、Tape Mode

クラシック＆ビンテージなアナログテープエコーの質感をエミュレートします。

sub-mode-a

ベーシックタイプ、アナログテープのサーチュレーションとコンプレッション感をディレイ信号に付加してクラシックロック風の温かい音質を作り出します。

sub-mode-b

ビンテージテープディレイ、多少のワウ＆フラッター（テープの走行が不安定な状態）質感をディレイ信号に加えます。僅かにコーラスがかかったようなサウンドがとてもリアルです。

sub-mode-c

ビンテージテープディレイ＆オールドテープ、モード B に似ていますがよりサーチュレートが多く、テープマシンのヘッドが汚れているテープエコーのように聞こえる非常に優れたアナログテープエコーの質感になります

（6-8）Misc Mode

その他様々なモードが 3 タイプ用意されています

6、sub-mode-a

ダイナミック 1、Feedback ノブの位置により静かなノート入力時に Feedback を増加させます。大きな入力の場合は 0 近くまで Feedback を減少させます。例えば Feedback ノブが 50%位置にある場合に静かに演奏すると Feedback が 50%増加されます。

7、sub-mode-b

ダイナミック 2、Mix ノブの位置により静かなノート入力時に Mix を増加させます(より Wet にする)。大きな入力の場合は Mix を減少させます(より Dry にする)。

8、sub-mode-c

タップミュート、Tap スイッチが一度押されるまで信号は 100%ドライです。一度 tap を押すとディレイがかかります。もう一度 tap を押すと入力信号がディレイに送られなくなります(まだディレイフィードバック音はまだ残っています)

このモードはライブ演奏で曲の 1 箇所だけで効果的にディレイをかけたい場合などに便利です。(Bypass スイッチでは突然ディレイがカットオフされてしまうので)

Looper Mode

最大 13.6 秒までのオーディオサンプルのループを使用可能です。最初のループの上にレイヤーループを重ねていくことも可能です。

Operating the Looper

mode スイッチを loop にあわせます。feedback と dtime ノブは無効になります。mix はループ音とライブサウンドのバランスコントロールになります。新しいループをレコーディングする時には tap を押します。終了する時には再度 tap を押します。すぐにループが始まります。またそのループに重ねてライブプレイすることも可能です。

ループをリセットしたい場合には preset スイッチを押します。
もう一度 preset を押すとプリセットモードになり新しいプリセットのロードが可能になります。

sub-mode-a

ノーマルルーパー、6.8 秒のループタイム、CD クオリティ音質

sub-mode-b

ロングルーパー、13.6 秒のループタイム、平均的音質

sub-mode-c

逆回転ルーパー、ループが録音されるとそれを逆回転再生します。オーバーダブは正回転です。またループプレイバック中に sub-mode-b と c を切替る事も可能です。b と c 切り替えでオーバーダブされたパッセージがそれぞれ逆回転になりますので最初のパッセージは sub-mode-b で録音し、その次のパッセージを sub-mode-c で録音、スイッチ切り替えでサウンドのバリエーションを作ることが可能です。

Using Presets

superdelay は 8 までのプリセットが組めます。loop モード以外はセッティングをプリセット可能です。ユニットが立ち上がった時には何のプリセットもロードされません。

8 つのプリセットは各ノブの下にある LED で確認できます。preset スイッチを押すたびプリセットは切り替わります。1-4 は黄色の LED が順番に切り替わり、5-8 は mix ノブの下に赤 LED が点灯します。

プリセット 8 の後には全ての LED が素早くフラッシュします。これはノブプリセットを表しています。 現在のノブ位置とスイッチ位置が反映されます。

プリセット呼び出しは presets で番号（1-8）を選び、その後 tap を押すことでロードされます。led がソリッドに明るく光ります。

プリセットの保存には presets スイッチを希望の led 位置まで移動してから save スイッチを長押ししながら、presets スイッチを同時に押します。

プリセットをロードした後にノブやスイッチのポジションを変更した場合はプリセットのインジケータが暗くなります。オリジナルプリセットのポジションに戻ると再度明るく光ります。

Expression Pedal

外部エクスプレションペダルに対応しています（別売）。ディレイタイム、ミックス、フィードバックを選択してリアルタイムコントロール可能です。

以下のような仕様の一般的なエクスプレッションペダルを試用してください

（例：M-Audio EX-P など）

Tip-signal

Ring-power

Sleeve-ground